

No.2852

2017-2018年度

会長 成川 守彦

幹事 橋本 拓也

R広報委員長 應地 正章

担当：成川(雅)委員



島海碩書

第2640地区
 例会日 毎週木曜日 12:30
 例会場 紀州有田商工会議所6F
 〒649-0304
 事務所 有田市箕島33-1
 紀州有田商工会議所2F
 有田ロータリークラブ
 Tel (0737) 82-3128
 Fax (0737) 82-1020
 創立 昭和34年6月15日
 ホームページ <http://www.aridarc.jp>
 e-mail office@aridarc.jp

～ 四つのテスト 言行はこれに照らしてから ～

1. 真実かどうか 2. みんなに公平か 3. 好意と友情を深めるか 4. みんなのためになるかどうか



本日のプログラム

平成29年12月7日 第2853回

- ・ 会員卓話：中村 吉伸 君 「フレイル」
- ・ ソング：「君が代」「我らの生業」

前回の報告（第2852回例会）

開催日 平成29年11月30日(木)

点鐘 (成川(守)会長)

ゲストの紹介 (上野山(捷)親睦活動委員長)

ゲスト：永田 雄治 氏(陸前高田RC)
 和歌山特報社様

ニコニコ箱の報告 (中元SAA)

成川(守)君：永田様、ご遠方のところ、ようこそ有田RCへお越しいただきました。本日の卓話よろしくお願い致します。ミャンマーの国際奉仕事業にご参加の皆様、ありがとうございました。

橋本君：永田様、ようこそ有田RCへ。本日の卓話よろしくお願い致します。

永田雄二様(陸前高田RC)：本日はよろしくお願い致します。

和歌山特報社様：ほとんど毎月のように例会に出席させていただいている感じです。奉仕の精神の深さを強く感じています。平等の精神も…。また出席したいですね！

上野山(捷)君：永田雄治様、遠いところ、ようこそ有田RCへお越し下さいました。卓話、楽しみにしています。

井上君：永田様、本日の卓話たのしみになっています。嶋田団長はじめ国際奉仕のみな様、おつかれ様でした。

橋爪(誠)君：永田雄治様、本日、遠い所お越しいただき誠にありがとうございます。卓話、勉強させて頂きます。国際奉仕体験させて頂きました。本当によかったです。会長はじめ関係者の皆様へ感謝です。

嶋田(崇)君：永田さん、今日は遠いところお越し下さり、誠に有難うございます。

橋爪(正)君：永田様、遠路わざわざ当クラブにお越し下

2017-2018年度クラブ方針

ロータリーを知ろう

～温故知新～

次回のお知らせ

平成29年12月14日 第2854回

- ・ 年次総会
- ・ ソング：「ROTARY」



さいまして誠にありがとうございます。

中村君：永田雄治様、ようこそ有田RCへ。卓話よろしくお願ひ致します。開眼法要では上野山栄作さんにお世話になりました。ミャンマーへ行かれた皆様、ほんとうにお疲れ様でした。

松村君：永田雄治様、有田RCへお越し下さいましてありがとうございます。ミャンマーの国際奉仕事業うまくいきました。会長はじめ会員の皆様の温かいご支援に感謝します。

岩本君：永田様、本日は遠路御苦勞様です。今夜は明日の祭礼の準備のため失礼します。

宮井君：陸前高田RC 永田様、ご遠方のところお出で頂きご苦勞さんです。

嶋田(ひ)君：永田雄治様、遠路、有田ロータリークラブへおいで下さり有難うございます。ミャンマー国際奉仕事業、ご苦勞様でした。

上野山(栄)君：永田様、ようこそ有田RCへお越し下さいました。卓話で勉強させて頂きます。ミャンマーでは自分自身、大変勉強になりました。ありがとうございました。

川口君：永田雄治様、ようこそ有田RCへ。本日の卓話宜しくお願い致します。勉強させて頂きます。

上野山(英)君：永田雄治様、遠路ご来訪有難うございます。ミャンマー奉仕団の皆様、ご苦勞様でした。

岩橋君：永田雄治様、遠方より御苦勞様です。卓話よろしくお願い致します。

児島君：永田雄治様、ご遠方からようこそ有田RCへ。お話、楽しみです。

菅原君：ミャンマー国際奉仕事業、御苦勞様でした。

児嶋君：納税表彰式にて表彰して頂きありがとうございます。永田さんの卓話楽しみにしています。

中元君：会員の皆様、ミャンマー国際奉仕活動への御協力ありがとうございました。

出席報告 (橋爪(正)例会運営委員)

本日の会員数32名
 (出席規定免除会員9名)
 出席会員数22名
 (出席規定免除会員7名)
 75. 86%
 11/9 90. 32%
 MU:なし

会長の時間 (成川(守)会長)

「ポリオプラス・プログラム、ライオンズクラブ」

まず、先週、ミャンマーの世界社会奉仕事業に参加された嶋田団長以下4名の皆様、見事、事業を実施されましたことに御礼を申し上げます。ご苦労様でした。後ほど、嶋田団長からご報告をいただきますが、詳しい報告は12月21日の「前期活動報告」で報告していただきます。



さて、11月は「ロータリー財団月間」です。先週は、ロータリー財団のビデオ「ロータリー財団」(4分30秒)を観ていただきました。今日は、(上野山年度に卓話にお越しいただいた)関場慶博PDGをリーダーとするインドポリオワクチン投与活動に、2012年より参加されている永田様から、卓話をいただきます。

彼は、もともと第2770地区(埼玉南東)のロータリークラブ会員でしたが、東日本大震災で、ロータリーが多額の支援金を贈りましたが、「ロータリーはお金を寄付するだけではない!」と言って、陸前高田RCへ移籍し災害復旧に尽力されているそうです。(凄いですね!)ロータリーに対して、情熱をもっておられます。

ポリオ一斉投与については、お手元に配布していますように、私のガバナー年度の2000年1月、インドのムンバイへ、地区から73名が参加しました。当クラブからは、上野山英樹君、嶋田崇君、私、それから退会された川村氏、榎本氏、栗原氏の計6名が参加しました。今、私が着ているベストは、その時インドのガバナーから贈られた「ポリオ投与の予防衣」です。

さて、その「ポリオ」についてですが、ロータリーは、1979年にフィリピンの子どもたちにポリオ予防接種をはじめて以来、パートナー団体とともに懸命に活動を続け、全世界でポリオの発症数を99.9パーセント減らすことに成功しました。

ロータリアンはこれまで、122カ国、20億人以上の子どもたちへのポリオ予防接種を支援してきました。今年の発生は、今のところ、afghanistan:10、pakistan:5 であります。

●**ポリオプラス・プログラム(Polio Plus Program)**

ポリオ(小児マヒ)を地球上から追放する目的のロータ

リー財団の事業。プラスとは、ポリオのほかハシカ、ジフテリア、結核、破傷風、百日咳の五つの主要伝染病をプラスして同時追放を目的としているという意味。この事業はWHOやユニセフと提携して推進中。接種活動は、主に発展途上国の厚生省、地方自治体保健当局などと協力して実施。ロータリークラブ会員はワクチン輸送、接種の意義、日時、場所の広報、医務要員の手当などに全面協力中。

次に、先週25日「有田ライオンズクラブCN(チャーターナイト)55周年記念式典」に招待され出席しました。有田地区では、ロータリー、ライオンズ、JCの周年記念にはお互い招待します。約150名の出席で盛大に開催されました。

今日は、「ライオンズクラブの誕生」について話します。我々ロータリアンが、何かにつけて対比する奉仕クラブにライオンズ・クラブがあります。しかし、我々が知っているのは、I serve 対 We serve、毎週の例会対隔週の例会位のものであって、案外詳しい内容は知らないのが現実です。

シカゴ市内に“ビジネス・サークル”とよばれる男性実業家グループが出来たのは、1908年でした。ロータリーの創立におくれること3年。損害保険代理店経営者のメルビン・ジョーンズは、シカゴRCに入りたかったが、入ることが出来なかった。それは、一業一会員制のせいです。既に、シカゴRCには1905年3月23日3回目の会合に参加しておりました損害保険代理店の経営者チャールズ・A・ニュートンが会員でした。

当時、ロータリーの影響を受けて男ばかりで昼食を共にするクラブが雨後の筍のように乱立していました。これらのクラブの多くは会員の間で“俺の商売の面倒を見てくれ。その代わり俺はおまえのを見よう”という約束が交わされ、完全に商売そのものでありました。会員達はお互いの商売や製品を引き立て、提灯持ちをし、利便を図っていました。

1913年3月、メルビンは“ビジネス・サークル”の会員となりました。しかしこの会は結成6年目で、お互いの商売の提灯持ちクラブの例外にもれず、惰性と無気力に蝕まれて、相次ぐ会員の脱退で会の存在も危うくなっていました。

彼は、会の在り方に疑問を抱き、「もっと社会に有益なことに力を発揮できないものか。ただ集まって食事をして肩をたたき合って商売のことを喋り合い、うまい話がまとまれば大いに満足して帰る会ではなく、社会全般の向上に役立つ話が出来ないのか。」と、考えました。

大多数の会員は程度の低い会員だが、二人や三人はいい会員もいる。このまま放置すれば、このクラブはいずれ解散に追い込まれるにちがいない。若しこのクラブが解散をするということになるといい人も死んでしまう。そこで大多数の会員は不出来な会員だが、その中に含まれる少数のいい因子を社会制度として残す便法はないか。

彼は、自分のクラブと同じような状態のクラブが全米に沢山あるに違いないと考え、全米に同種のクラブがあるかを調べ、往復書簡で連絡をとりました。そして、それらのクラブの代表を、1917年テキサスのダラスに集め、「わ

れわれはこのまま行ったら潰れてしまう。だけど潰れたらこの中に含まれる善良な因子までも消える。そこで我等にとり起死回生の策があるのだが、賛成してくれるだろうか。それは、われらのクラブの連合組織体を作ること。それぞれの参加クラブの名前はみんな違うが、これからは名前を共通にして行動しよう。」という提案を行い、参加クラブ代表の大多数の賛成を得た。

メルビンは参加クラブの中で名前だけは一番立派だが、社会的には一番無名なクラブとして“ライオンズクラブ”を発見し、そのクラブ群の共通の名を、“ライオンズクラブ”と名付け、その名を基本とした連合組織体を作り、その連合組織体である国際協会を“ライオンズ国際協会”と呼ぶことにしました。

ライオンズクラブの弱体をカバーする手段として、優秀な会員を輪番でライオンズ国際協会にプールして、その優秀な人間が一年間の事業計画を決めて、その命令でクラブ全体がいくつかの行動を統一的にとる事にしました。

ライオンズクラブにも道徳綱領というのがありまして、6番目に「公民として国家及び地域社会に対する義務を忘れず、変わらざる忠誠を言葉及び行動にあらわし、時間と労力と資力を惜しみなくさげること」とあります。第7項には「不幸な人には同情を、弱い者には助力を、貧しい人には私財を惜しまざること」というのがあります。

モットー

We serve われわれは奉仕する

スローガン

Liberty, Intelligence, Our Nations Safety (LIONS)
(自由を守り、知性を重んじわれわれの国の安全をはかる)

(引用:「ロータリーの源流」)

ライオンズは、団体として人を組織し、直接地域社会に奉仕する。ロータリーは、奉仕する人を作り、その人作りの輪を広げていく。これがライオンズとロータリーの大きな違いだと私は思います。

幹事報告 (橋本幹事)

- 岡本ガバナー及び成川規定審議会代表議員から全クラブ会長あてに、2つの通知が届いています。
・2017年決議会の投票について、各クラブからの意向を参考に投票を済ませたこと
・RI規定審議会の決議会の採択結果について
- オンツー・トロント委員会より、トロント国際大会への参加ツアーご案内が届いています。成川(雅)国際奉仕委員長に渡しました。
- 12月のロータリーレートは、112円との報告がありました。
- 地区青少年奉仕・米山委員会合同クリスマス会のご案内が届いています。井上社会青少年奉仕委員長・松村米山記念奨学会委員長に手渡しました。
- 他クラブより、例会変更のお知らせが届いています。
- 田辺RC及び田辺東RCから週報が届いています。
- 来月の理事会での議案の締切が本日です、私まで提出おねがいします。

8.11/26開催の第2分区会長幹事会に橋本が出席しました。来年3/17開催の研修会について検討しました。

委員会報告

*ミャンマー事業帰国報告(嶋田(崇)団長)

11/22(水)~26(日)まで、ミャンマーへ会員5名で無事に行って参りました。今回の事業の目的は、バゴー地区の農家の人々に有機肥料を使った職業訓練でした。詳しいお話は、これから記録を纏めて、12月の前期活動報告の時にご説明致します。一つだけ感想を述べさせていただきます。海外で実際に国際奉仕事業を実施すると、肉体的・精神的疲労もありますが、それ以上に現地住民の方々の真剣な眼差しと、喜びや感謝の笑顔を見ると、これまでの苦労がすべてが吹っ飛んでしまい、爽やかな感動で満たされることを今回の参加者5名全員が経験できました事をとても嬉しく思っています。最後に今回の事業を支援して下さい、成川会長始め会員の皆様方に心よりお礼申し上げます。有難うございました。



*国際奉仕委員会(成川(雅)委員長)

トロント国際大会の案内

*指名委員会(松村委員長)

次週、例会終了後、第2回指名委員会を開催します。

*親睦活動委員会(橋爪(誠)副委員長)

1/11(木)午後4時~ 新年例会をホテルグランヴィア和歌山で開催します。次週、出欠をとります。

*ロータリー財団委員会(嶋田(崇)副委員長)

松村さんより特別寄付をいただきました。

卓話

「インド・ポリオワクチン投与活動の現場は」

永田 雄治 様(陸前高田RC)

皆さん、こんにちは。第2830地区の関場慶博PDGが中心となって行なっています「インドポリオワクチン投与活動」(別名:チームポリオジャパン)で事務方をしております第2520地区陸前高田クラブの永田雄治です。本日はインドでの活動現場の現状を中心にお話をさせていただきます。



インドでは2011年1月13日にポリオと診断をされた4歳女子を最後に症例が確認されていなく、2014年3月2

7日にはWHOから根絶宣言(ロータリーでは撲滅)が出されました。現在残る3カ国(パキスタン、アフガニスタン、ナイジェリア)では11月28日現在でパキスタン5例、アフガニスタンで11例が報告されています。インドでは発症が確認されていないのにまだインドで活動をしているのかとよく言われることがあります。それはパキスタンなどの隣国からウイルスが入って来る可能性や、国内での戸籍管理が行き届いていないために5歳以下の子供への投与が不十分だからです。国境には接種ブースを設けて入国する全ての渡航者およびインドからポリオ発生国に出国する方には、ワクチンの投与を義務付ける対策を取っています。合わせて国内ではNIDsを行い、5歳以下の子供達へ徹底的な投与を続けている訳です。

1997年に始まりましたインドでのNIDs(全国一斉予防接種日)ですが、2000年にはムンバイでの活動にクラブ会長の成川さんをはじめ数名の方が参加されたとお聞きしました。その年の2640地区大会に私たちのチームリーダー関場さんが参加させていただき、感銘を受け、その翌年からは連続して活動を続けています。インドでのNIDsは年に2回の活動が基本で、土曜日には宣伝の為にラリー(パレード)、日曜日はブースでの投与、月曜日から木曜日までは戸別訪問による投与を行なっています。日曜日の活動の様子はニュースや新聞に取り上げられることがあり華やかではありますが、実際は保健師さん2名とチームを組み家々を回って子供たちへ投与する地道な戸別訪問活動が根絶へと導いたものと感じています。

事務方として嬉しいことは皆さんに活動体験をしていただくことではありません。プロジェクトに参加されたメンバーがクラブ・地区を超えて交わり(Fellowship)、絆ができることです。その中から新しい奉仕活動も生まれてもいます。また数地区からはアクターやメンバーのお子さんやお孫さんも参加をします。今夏などは大曲クラブにご協力をいただき家族同伴で花火大会にも行き交流をしました。有田クラブでも今月はミャンマーへの国際奉仕活動が行われた様ですが、報告を聞かれて行けば良かったと思われた方はクラブを代表してインドへお越し下さい。考えもつかない体験や出会い、

交わりが待っていますから。

諸先輩を前にして失礼な言い方もあったかとは思いますが、ロータリー寛容のお気持ちで流していただければ幸いです。これをご縁に、今度はメイクアップに参りますのでよろしく願いをして、簡単ではありますが終わりとさせていただきます。ありがとうございました。

<追伸>

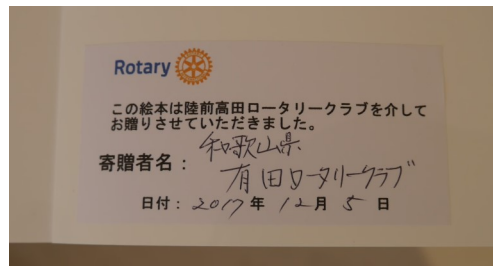
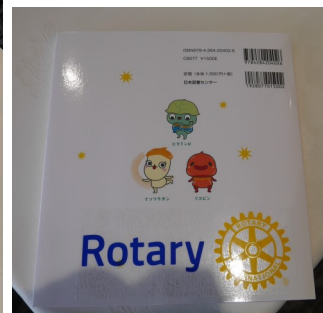
12月16日からは2回目のパキスタンでのNIDsに参加をして来ますが、「ロータリーの友」から原稿の依頼がありましたので数ヶ月後にはご覧いただけるかと。

閉会・点鐘 (成川(守)会長)

～永田雄治様より絵本寄贈のご報告～

今回の有田RCでの卓話の謝礼金で、陸前高田市にある竹駒小学校の学童保育所に有田RC名で絵本を寄贈されたとのことで、永田様よりお写真を送っていただきました。子ども達には「ロータリーのマークだけは覚えてね!」と言っていつも渡しているそうです。何処かでロータリーのマークを見つけた時、あの学童施設の本にあったものかと思いついてほしいからだとか・・・

永田様のますますのご活躍をお祈ります。
ありがとうございました。



永田雄治さんを囲んで橘家さんで懇親会が開催されました～。